



丹後学園だより 令和5年 3月9日号 丹後学園事務局



♪～春のやよひのこの良き日 なによりうれしいひなまつり～みんな健やかに育てほしい!



「金の屏風にうつる灯を微かに揺する春の風
少し白酒召されたか赤いお顔の右大臣・・・」

いにしへの結婚式の様子が想像できる歌とともに平安朝の歴史や文化を感じるひとときでした。

リズムに乗せて、なにげなく覚えた歌詞もそういう意味

だったのかと後になって、知ることとなる場合がありますね。「すまし顔」「三人官女」「お嫁にいらした」「晴れ姿」等、幼き頃にいったん習得した言の葉は、いつか、どこかで花開くことがあるのでしょうか。

<こども園・保育所 3月3日 ひなまつり>

こども園では



*ホールでお内裏様とお雛様(園長先生)の結婚式が行われました。なんと、プロデュースは子どもたち。グループで相談しながら、考えたようです。友達と関わる中で、お互いの思いや考えを共有し、共通の目的の実現に向けて工夫や協力すること等を身につける機会になりました。



保育所では



*先生から日本の伝統文化から風物や食文化と身近な生活も絡めた「ひなまつり」に関連したクイズが出題され、正解した子どもたちに自然と拍手が送られました。また、自分で描いた「おひなさんの絵・工作」について、苦労した点、アピールしたいところを交えて説明しました。様々な

素材の特徴や表現の仕方に気付き、感じたことを自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだり、表現する喜びを味わうことができました。

卒業式を前にして各小学校では

3日に宇川小、7日に丹後小、5年生が中心になり全校児童が、卒業する6年生に「ありがとうの気持ち」を伝えることができました。両校とも全校児童でレクレーションを楽しみ、プレゼント贈呈や歌・合奏があり送別の会が盛大に執り行われました。当日は習得したタブレットを駆使して、実行委員の面々が手際よく進めていました。

中学校へ行っても頑張ってください! <在校生> ♡ すばらしい、送る会を有難う! <卒業生>



3月2日 学校運営協議会年度末総会 ～この一年を振り返る～

下田会長より「こどもたちには、無限の力がある。私たち大人は、子どもたちの力を育てる大切さを実感しましょう」と開会の挨拶があり、小森副会長からは、「こどもは親だけでなく地域の宝であること」を広めていきましょうと閉会の挨拶がありました。また、今年度の本協議会の活動内容等について、学校運営協議会総会出席者の皆様に承認されましたので、お知らせいたします。



記

①丹後学園運営協議会会議報告

- (1)5月25日(水) 第1回総会 ・規則、設置要項・会則等確認、運営方針、年間計画、学園経営方針の承認
- (2)11月中旬～ 丹後学園評価アンケート実施
- (3)3月2日(木) 第2回総会 ・活動報告、次年度に向けて、丹後学園経営のまとめ 承認

②丹後学園保幼小中一貫教育の支援

- (1)丹後町内外から延べ261名、延べ121日のボランティアの活用
- (2)コロナ感染状況に応じて、無理のないよう実施した。ボランティアさんの不足もあり、要望があっても受け入れが難しい状況でもあった。



③主な学園行事への参加

- (1)丹後中 「合唱祭」6月4日(土)、「体育祭」9月10日(土)
- (2)小6部活動見学 9月21日(水)
- (3)丹後中2年生PBL発表会11月2日(水)
- (4)小6中学校授業体験 12月5日(月)、1月26日(木)
- (5)中学校2年生 立志式 2月4日(土)、小学校4年生 1/2 成人式2月19日(日)



④支援活動

- (1)丹後町内一斉挨拶運動 6月15日(水)、10月14日(金) 京丹後市青少年健全育成協議会と共催
- (2)丹後こども園と丹後中の合同避難訓練中止

⑤成果と課題

- (1)タイムリーな情報発信ができなかった、さらに本協議会の活動を広報していく。
- (2)学校支援ボランティアの方々に教育活動に尽力していただき、子どもたちの成長につながった。
- (3)本会の取組として、今後も授業参観、学園行事等を設定していく。
- (4)挨拶運動は、子どもたちへ直接、声をかける機会となってよかった。

⑥次年度に向けて

- (1)本会の活動内容や学園の子どもたちの様子、学園行事へ参観された方の感想等が地域に届くように情報発信をしていく。
- (2)各関係諸団体から地域へ学園の取組等を知らせていただき、教育活動に対する理解と協力が得られるようにしていく。

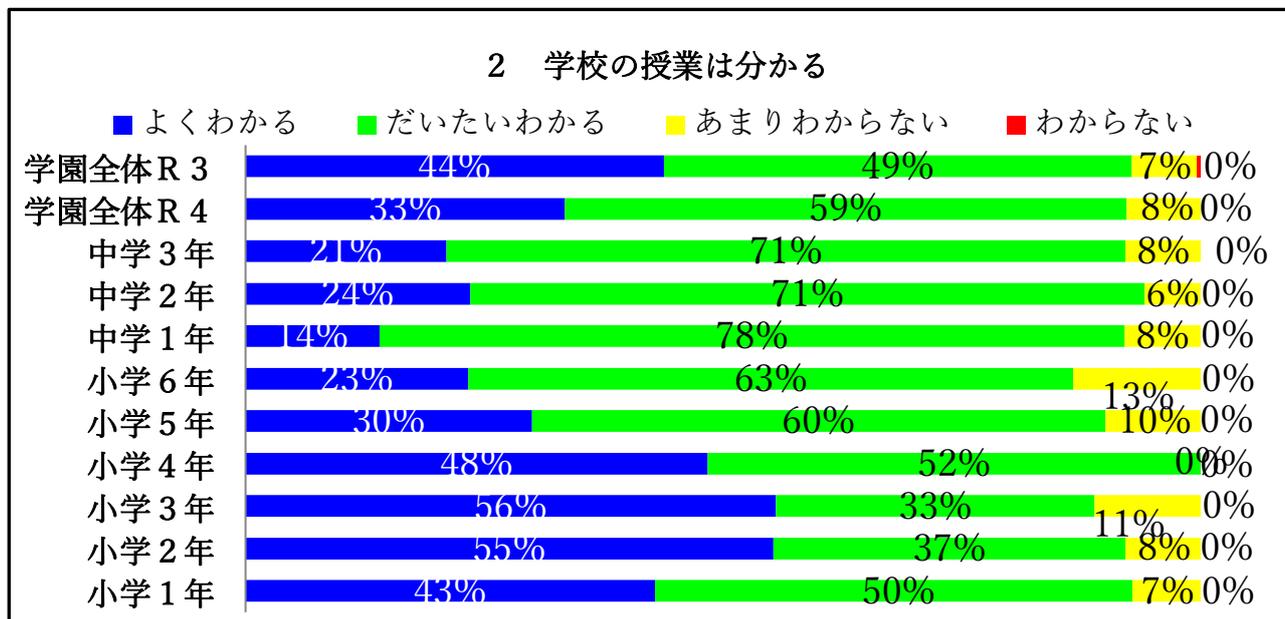


※二次元コードを活用してください。↑

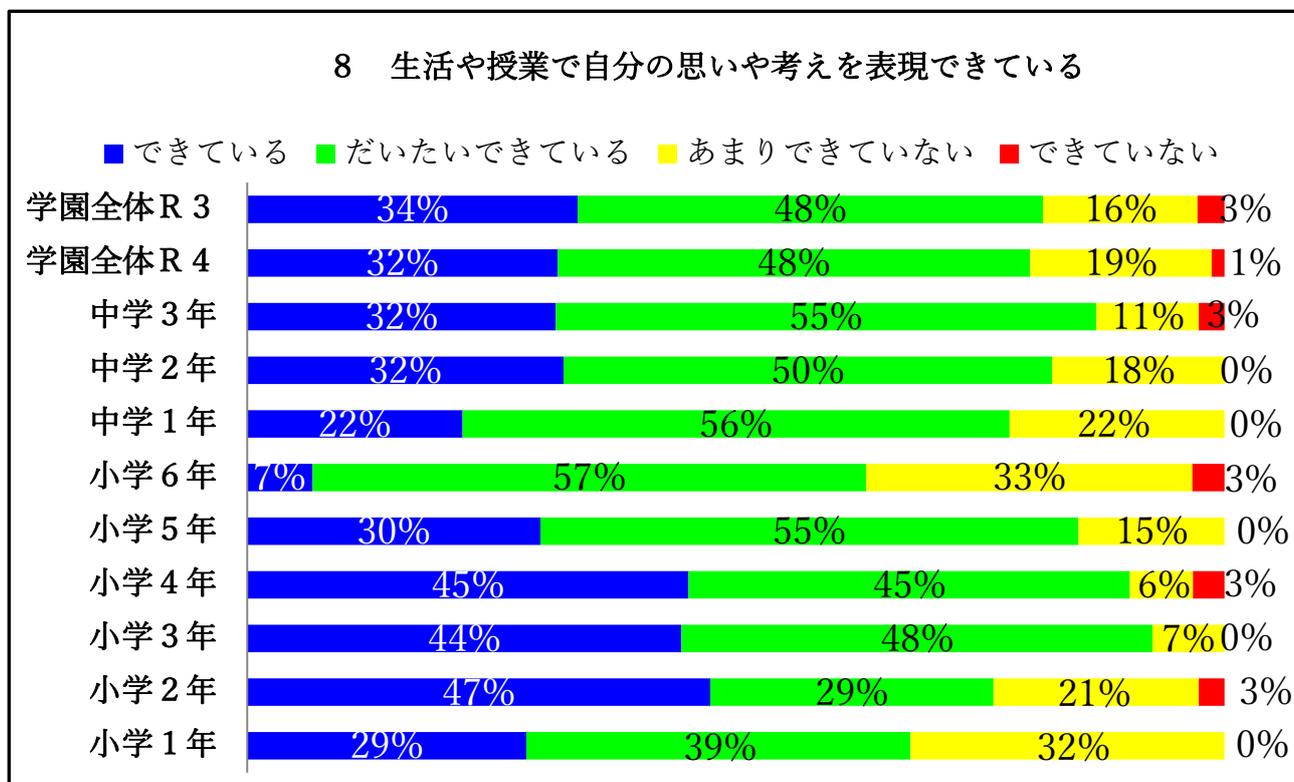
令和4年度学園評価アンケート結果、ご意見他

◆ 児童生徒(小中学校)

資料1



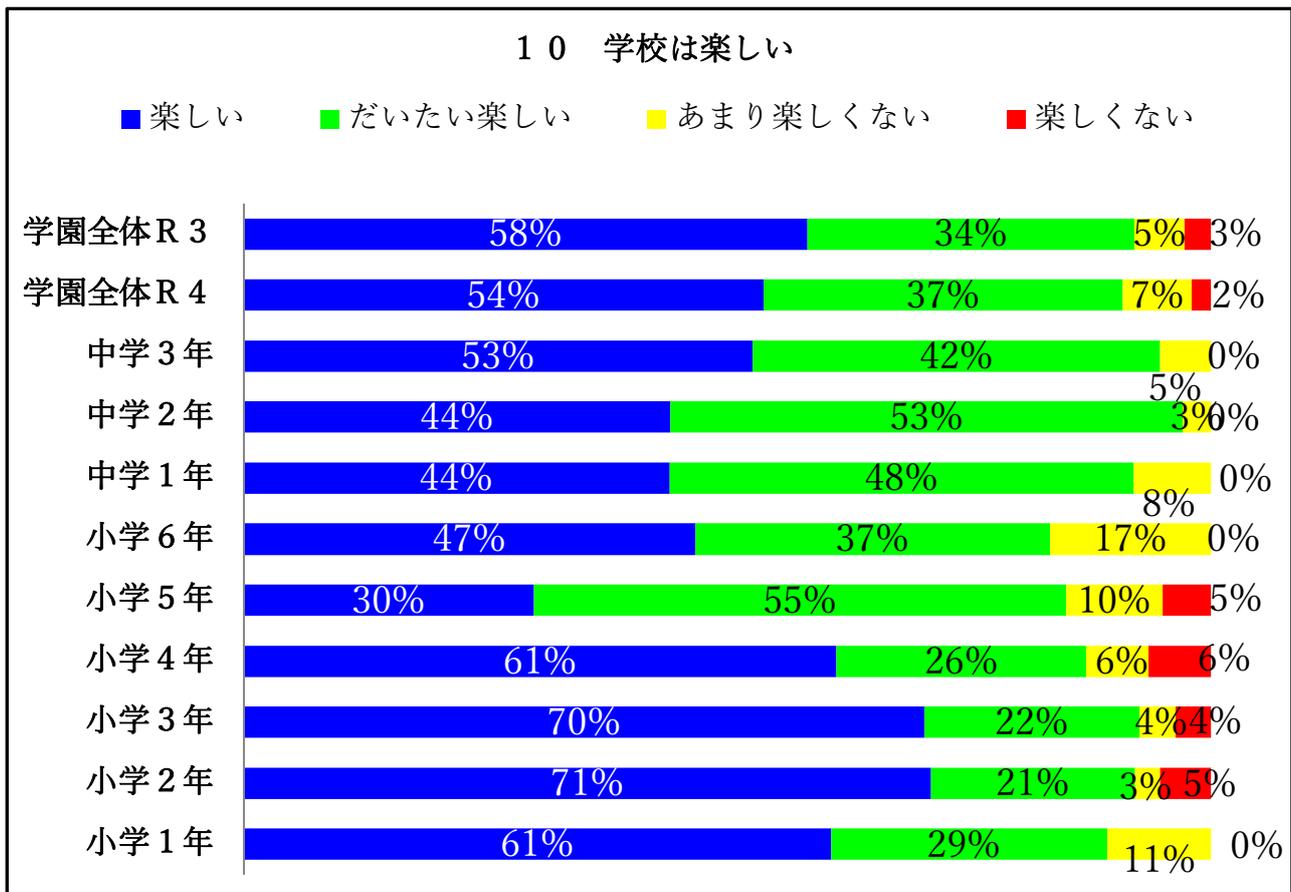
*学園全体では、9割の児童生徒が「よくわかる」、「だいたいわかる」と回答でしたが、「よくわかる」の回答をみると、昨年より11%減、中1の割合が低かった。さらなる研鑽を積み、児童生徒の実状を把握し、効果的な指導を進めていきたい。



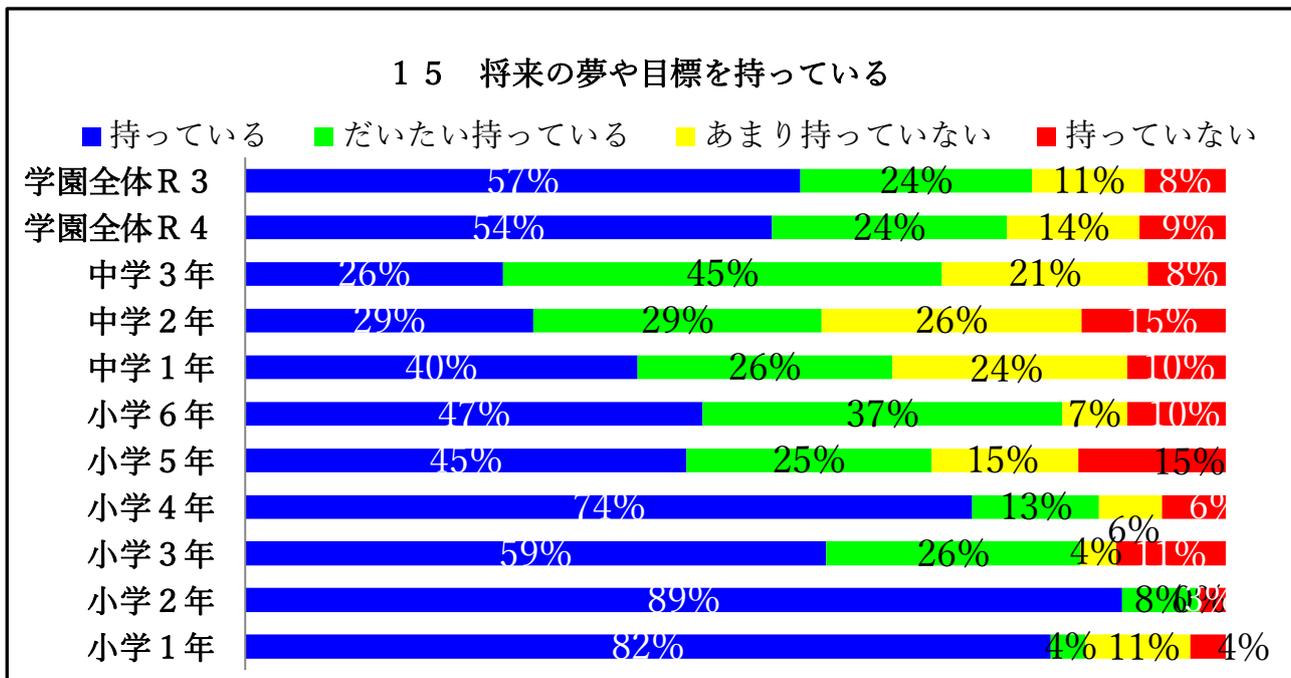
*学園全体では、昨年同様「できている」、「だいたいできている」と8割の回答であった。「できている」の回答をみると、小6、中1の割合が低かった。安心安全の学びの環境づくりに専心していきたい。

◆ 児童生徒(小中学校)

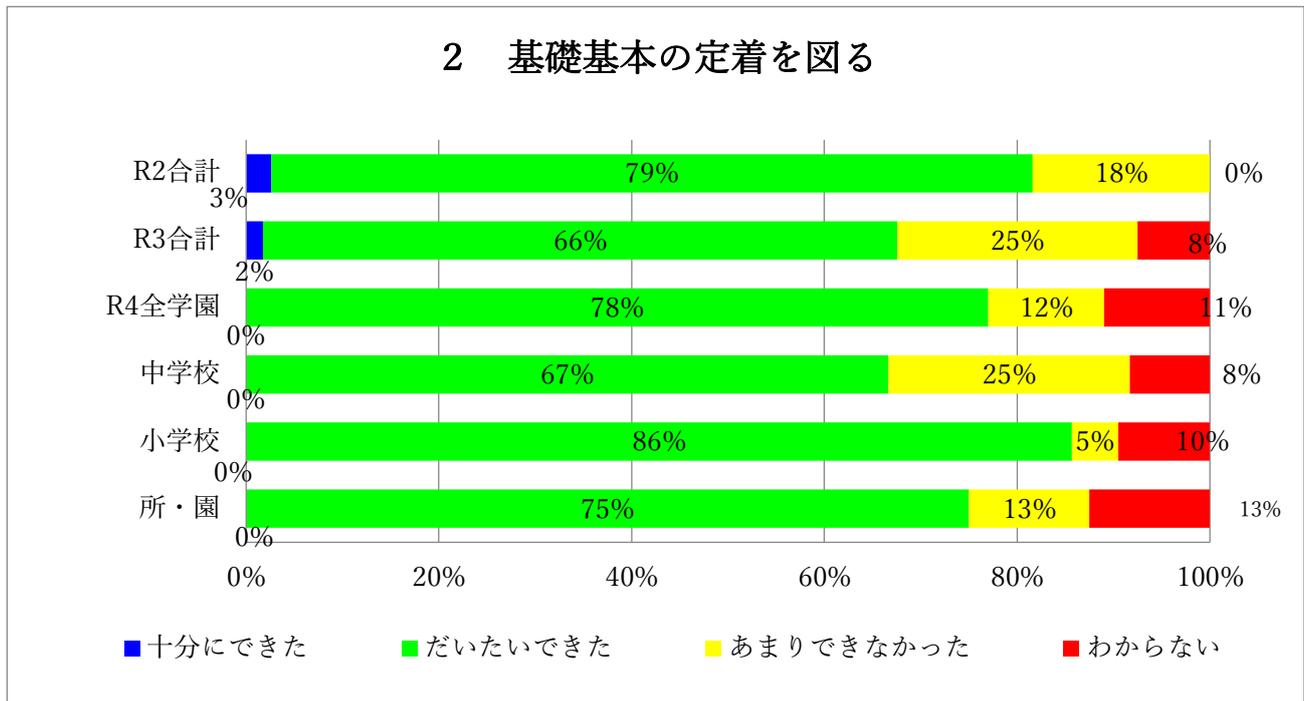
資料2



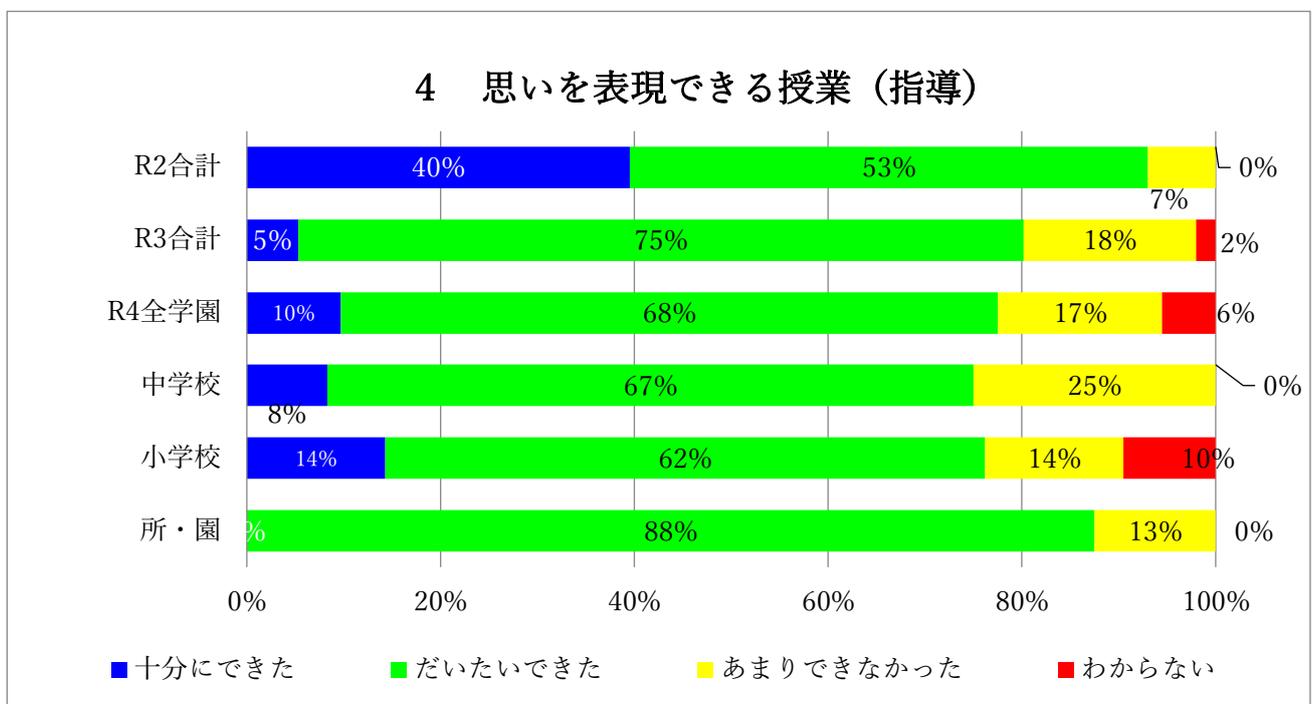
* 肯定的評価が高かったが、「楽しくない」の回答も見られた学年の児童生徒への配慮が必要である。



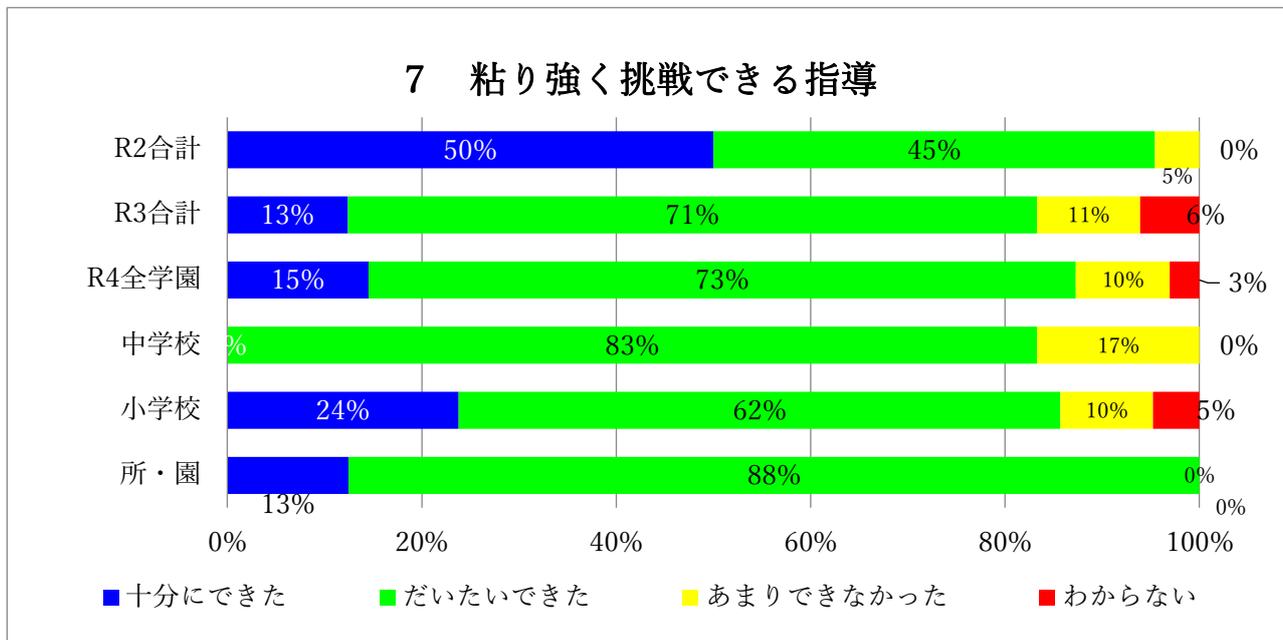
* 昨年と大きな変化はないが、学年が上がるにつれて「持っている」と回答する割合は下がっている。
将来をイメージさせる活動も取り入れていきたい。



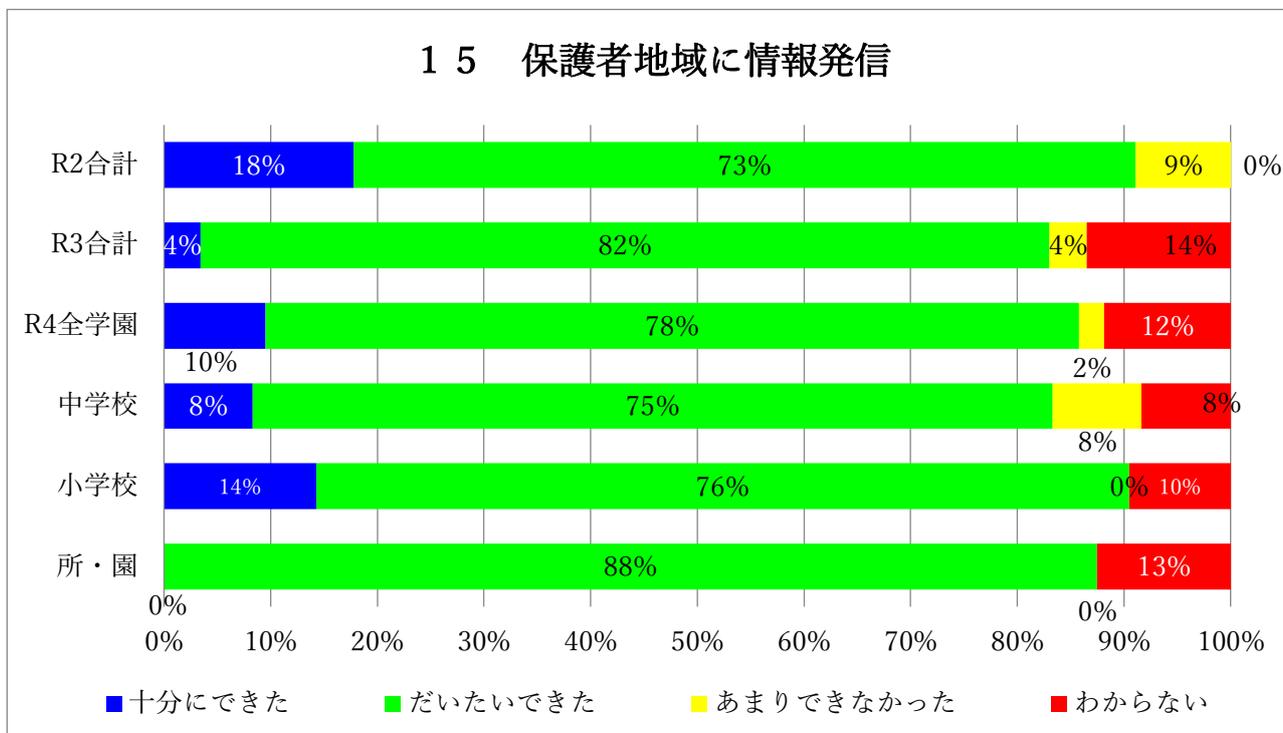
* 「だいたいできた」の割合が増加した。基礎基本の定着を大切に指導していく意識の高まりが学園全体で感じられる。中学校では4分の1が「あまりできなかった」との回答があった。わかるまで教えることと併せて定着・習熟の時間確保の工夫が要る。



* どの校種でも「あまりできなかった」の割合が一定数ある。児童生徒等の実態を踏まえ、思いの表現できる機会の設定や支援の充実を図る必要がある。

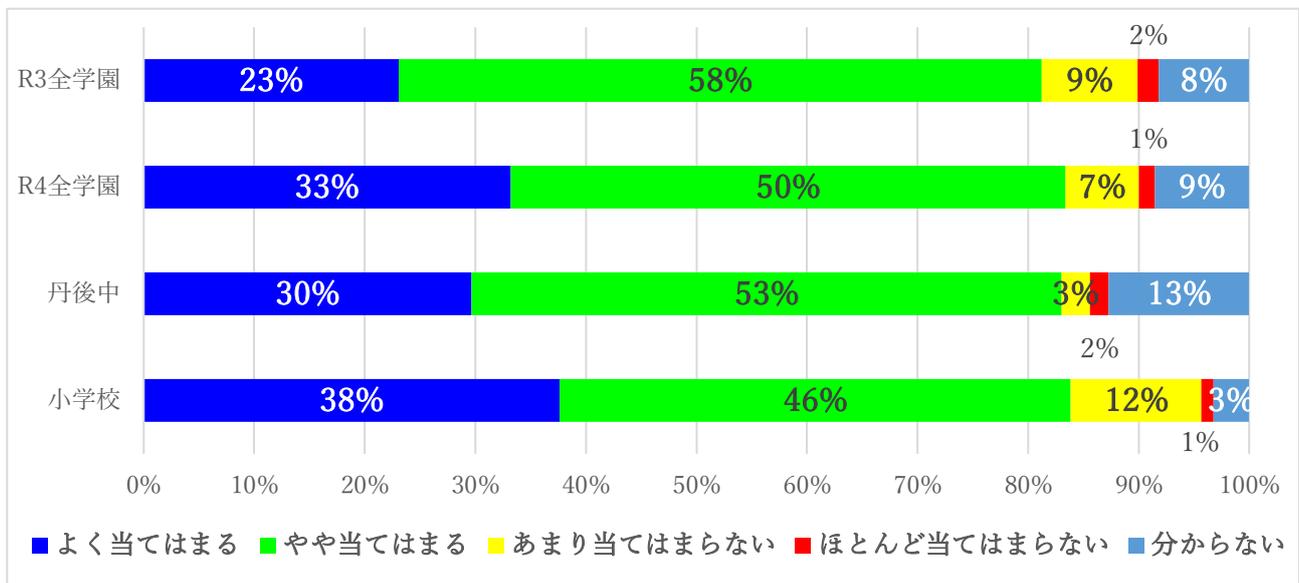


* 「十分にできた」「だいたいできた」の割合がやや増加しているが、依然「あまりできていない」の割合が10%程度ある。今後も保・幼・小・中学校での継続した指導による充実を図っていかねばならない。



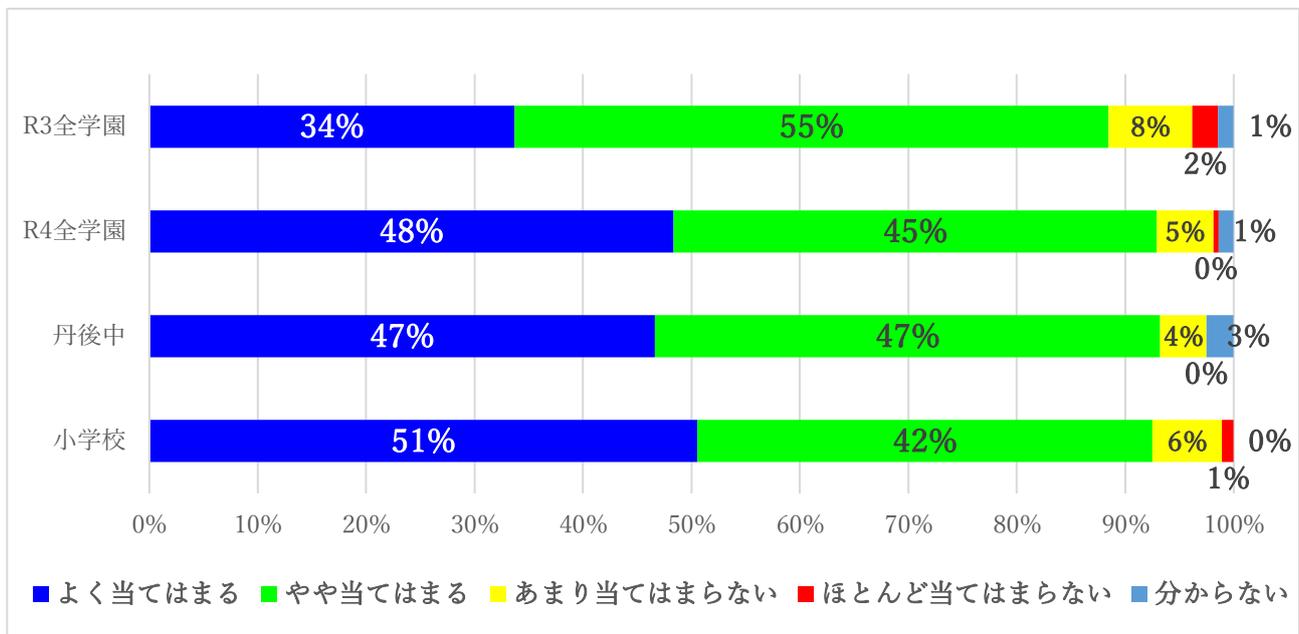
* 「十分にできた」、「だいたいできた」を合わせると約9割の回答があった。情報の発信は、学園だよりや各校等からの便りやホームページ等により地域や保護者、全教職員へも広まっている。

学園は地域と連携した取組ができている。



* コロナ禍であるものの感染防止対策の徹底や実施方法の工夫を図るなど公開の機会が増えたことも「よく当てはまる」が、全体で増加した要因と推察される。

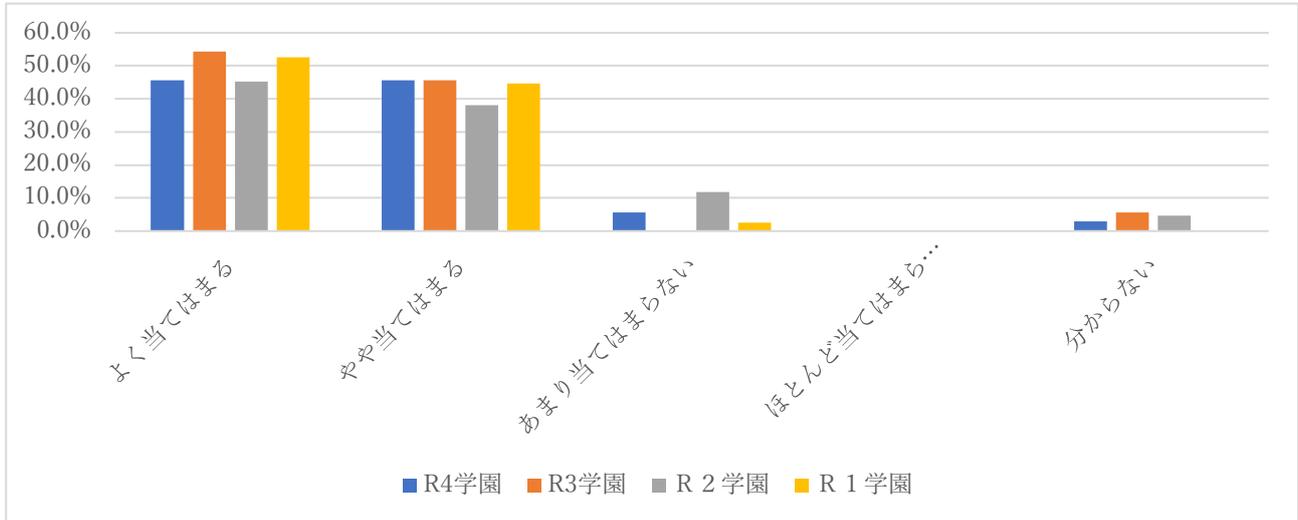
積極的な学園公開、学校公開を行っている。



* 昨年と比べ、「よく当てはまる」の回答が14%、増えた。情報の発信や授業参観等の機会が増えてきたことも改善してきた要因とも考えられる。

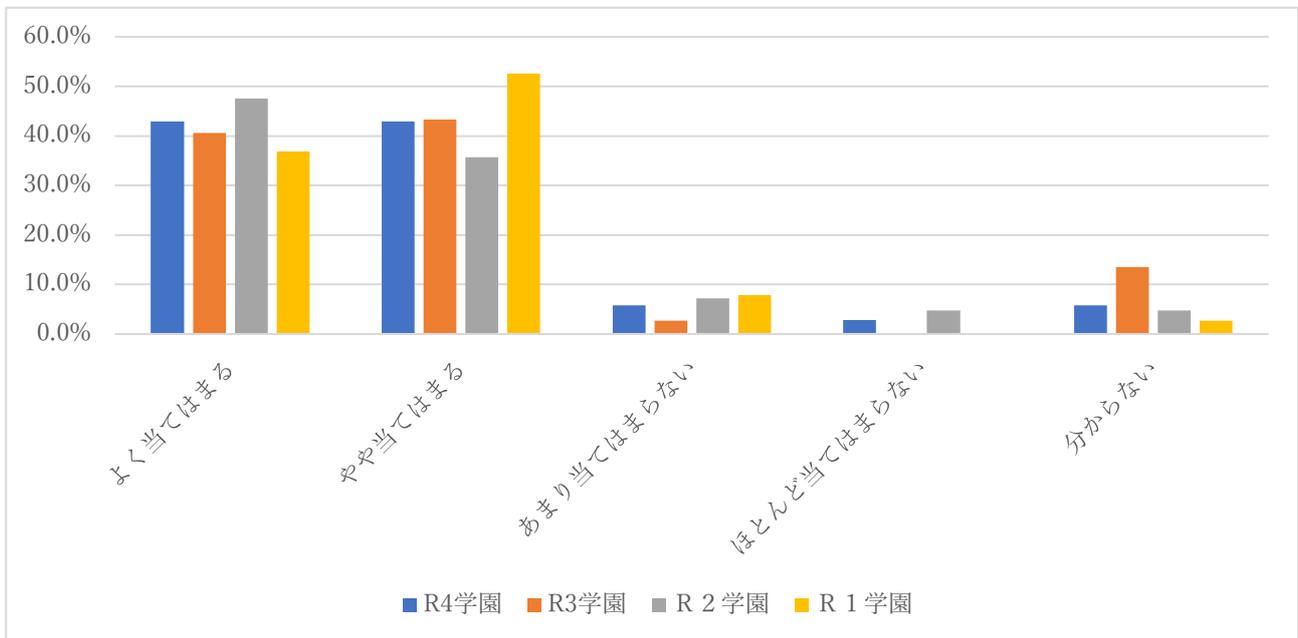
(学校運営協議会委員・学校評議員・民生児童委員協議会)

学園はPTAと連携した挨拶運動や交通指導に取り組むことができている。



* 学校等の指導だけでなく、家庭や地域で普段から挨拶や声をかけていただいていることにより、ごく自然に子どもたちは、挨拶ができるようになり習慣として身につけてきている。

保護者・地域へ双方向の情報発信を行うことができている。



* 定期的に発行する便りを読んだり、ホームページを閲覧したりする人が増えてきているのではないかと。今後も読みやすく、タイムリーに子どもたちの活動の様子や参観後の声等を紹介していきたい。

※いただきましたご意見から

1 丹後こども園前の路側帯の街路樹周辺の雑草が気になります。

- ☞ こどもたちには、良い環境の中で過ごすことが望ましいことは当然です。京都府土木事務所が管理をされているものであります。事務所へ雑草の繁茂していること等実状をお知らせしたところ、樹木等の撤去作業をされるとのことでした。(3月8日現在 撤去済)

2 松本重太郎ギャラリーが丹後地域公民館には、「松本重太郎ギャラリー」があるのですが、郷土の先輩のことを学習しないのですか。

- ☞ 町内すべての学校が取り扱って学習していませんが、次年度は小学4年生で地域学習の計画がありますので、丹後町出身の偉人としての業績や生き方等を学ぶ機会にすることを検討していきたいです。

3 tetoru のアプリを利用し、学校や保護者、地域が情報共有できるようにしてほしいですが。

- ☞ 現在、市教委でも検討され、効果があり、設置の環境等、条件が整えば活用していく予定のようです。

4 こどもたちのグループラインの中で悪口や写真を加工する等、親としても実態を把握していく必要を感じます。

- ☞ 情報機器による友達関係のトラブルは、学園としても喫緊の課題として受け止めています。発達段階に合わせて指導を展開し、全体指導や個別指導を進めています。今年度、作成した「情報モラル指導カリキュラム(裏面に掲載)」に沿って丁寧に指導をしていきたいと考えます。

その他、グローバル化や著しい科学技術が発展している昨今、主体的に生き抜く子どもたちに育ててほしいと熱く語られた文面もありました。いただきましたご意見をもとに、保幼小中で一層の連携を図るとともに理想とする子ども像(ことばで伝え合い、主体的に学ぶ子

自分を大切にし、人を思いやれる子
ねばり強く身体をきたえる子)を目指して教育活動を充実させてまいりたいと思います。
今後ともよろしく願いいたします。有難うございました。



丹後学園 情報モラル指導モデルカリキュラム【令和4年度】

丹後学園生徒指導部会

分類	小学校1・2年	小学校3・4年	小学校5・6年	中学校	高等学校	
情報社会の倫理	発信する情報や情報社会での行動に責任を持つ			情報社会への参画において、責任ある態度で臨み、義務を果たす		
	a	約束やきまりを守る	相手に迷惑をかけるか考えて行動する	他人や社会への影響を考慮して行動する	情報社会における自分の責任や義務について考え理解し、行動する。	
	情報に関する自分や他者の権利を尊重する			情報に関する自分や他者の権利を理解し、尊重する		
	b	友だちの作ったものを大切にすることを心をもつ	自分や相手に関係する情報を大切にしている	情報にも、自分や相手の権利があることを知り、尊重する	個人の権利（人格権、肖像権など）を理解し、尊重する。	
法の理解と遵守	情報社会でのルール・マナーを順守できる。			社会は互いにルール・法律を守ることによって成り立っていることを知る		
	c		情報を伝えたり、やり取りしたりする時のマナーやルールを知り、守る	何がルール・マナーに反する行為かを知り、そういった行為は絶対に行わない	違法な行為とは何かを理解し、違法だとわかった行動は絶対に行わない	
				「ルールやきまりを守る」ということの社会的意味を知り、尊重する	情報の保護や取り扱いに関する基本的なルールや法律の内容を理解する	
				契約行為の意味を知り、勝手な判断で行わない	契約の基本的な考え方を知り、それに伴う責任を理解する。	
安全への知恵	d	情報社会の危険から身を守るとともに、不適切な情報に対応できる		危険を予測し被害を予防するとともに、安全に活用する		
		大人と一緒に使い、危険に近づかない	怖い、危ないと感じたときは、大人に伝え、問題を解決してもらう	予測される危険の内容がわかり、避ける	安全性の面から、情報社会の特性を理解する	
		間違った情報に出合わないところで利用する	よくない情報に出合ったときは、大人に伝え、問題を解決してもらう	不適切な情報であることを認識し、対応できる	トラブルに遭遇したとき、主体的に解決を図る方法を知る	
	e	情報を正しく安全に利用することに努める			情報を正しく安全に活用するための知識や技術を身につける	
			情報の中には間違ったものもあることに気付く	情報の正確さを判断する方法を知る	情報の信頼性を詳しく調べ確かめることができる	
		知らない人に、連絡先を教えない	自分や相手のことがわかる情報は他の人にも知らせない	自分や相手の個人情報や、第三者にも知らせない	自他の情報の安全な取り扱いに関して、正しい知識や技術を持って行動できる	
	f	安全や健康を害するような行動を抑制できる			自他の安全や健康を害するような行動を抑制できる	
		決められた利用の時間や約束を守る	元気に生活するために、ゲームやTV、インターネットを使用する時間を決め、守る	健康を害するような行動を自制する	健康の面に配慮した、情報メディアとの関わり方を意識し、考えて行動できる	
情報セキュリティ	g	生活の中で必要となる情報セキュリティの基本を知る			情報セキュリティに関する基礎的・基本的な知識を身につける	
			IDやパスワードの大切さを理解して、正しく使う	不正使用や不正アクセスされないように利用できる	情報セキュリティの基礎的な知識を身につける	
	h	情報セキュリティの確保のために、対策・対応がとれる			情報セキュリティの確保のために、対策・対応がとれる	
構築 公共的なネットワーク社会の	i	情報社会の一員として、公共的な意識を持つ			情報社会の一員として、公共的な意識を持ち、適切な判断や行動ができる	
			インターネットはみんなのものだということを理解して使う	ネットワークは共用のものであるという意識を持って使う	ネットワークの公共性を意識して適切な判断や行動する	